



新1年生が入学！新しい年度のスタート！

4月5日に第58期生の入学式を行いました。東三国中の新しい仲間として、新1年生86名が入学してきました。入学式では、校長先生から「中学時代の目標をたて、自分のよりよい個性を伸ばしてください」「人と人のコミュニケーションを大切に、真の友だちを作ってください」「毎日元気に学校に通い、よい学校を皆の力でつくりあげてください」とお話しました。また、東三国中学校の4つの約束、①「あいさつをしよう」②「5分前行動をしよう」③「校内美化に努めよう」④「申し合わせ事項を守ろう」について守ってほしいとお願いしました。



▲入学式、校長先生の式辞



▲新入生の誓いのことば

東三国中の特色として、毎日、学校元気アップボランティアさんがたくさん学校支援に来てくださり、生徒や先生と交流を深めています。多くの地域の大人の目があることで、落ち着いた学校環境が作られています。その日頃の感謝の情から、生徒のボランティア組織「ジュニアリーダー」が結成され、生徒による地域活動も積極的に行われています。

東三国中学生全員がジュニアリーダーの対象なので、ぜひ地域活動に貢献してほしいです。

4月9日には、始業式があり、新1年生と2・3年生との対面式を行



▲対面式、歓迎のことば

い、2年生から歓迎の言葉がありました。これから3年間、東三国中学生として充実した学校生活を送ってほしいと願っています。

東北ボランティア研修！Jr.リーダーが報告！

3月26～27日、ジュニアリーダー8名が、東北ボランティア研修に行ってきました。始業式のあと、東北研修の報告を行いました。

飛行機で仙台に到着後、電車を乗り継ぎ南三陸に向かいました。迎えに来ていただいたホテル観洋の従業員の伊藤さんから、震災当時のお話や復興の状況を、現地を回り直接見て体感しながら、丁寧で熱意のこもった説明を受けました。



▲震災の様子の説明

被災した防災対策庁舎の跡地を訪れ、被災者のご冥福をお祈りし黙祷し、全校生徒が折った千羽鶴を献納しました。



▲Jr.リーダーが研修報告

震災復興の象徴であるカキの殻むきのボランティア活動を体験しました。震災直後に県外からたくさんのボランティアさんが海鮮漁業の復興のために来てもらい、カキの養殖が再開できたそうです。



▲カキ殻むき作業を体験

ホテルでは、女将さんから、震災直後に被災者を受け入れた状況を聞かせていただきました。



▲ホテル女将さんのお話

2日目、東松島に移動し、東松島のジュニアリーダー達と合流して、よつばファーム園で、津波の塩害で枯れた土地に、オリーブを植える活動をお手伝いしました。東松島Jr.リーダーと共に



▼黙祷し千羽鶴を献納



▼防災対策庁舎

活動するなかで、ジュニアリーダー同士の良い交流を持つことができました。

陸前小野駅前では、被災者の避難所での生活から作られたソック人形の「おのくん」を里帰りさせました。



▲東松島Jr.リーダーと交流



▲松島語り部クルーズ

松島復興語り部クルーズに乗船し、語り部さんから、震災当日の朝、両親とケンカしたまま亡くされたことを、今でも悔やんでいることなど聞かせていただきました。



▲おのくん里帰り

一泊二日でしたが、震災の被災と復興について考えさせられた貴重な研修となりました。この体験を今後、東三国地域の防災・減災の意識を高める活動に活かしていきたいと考えています。

ジュニアリーダー活躍！十八条公園に種まき！

4月22日(日)、地域からの要請でジュニアリーダーたちが集まりました。

地域の皆さんに親しまれ、子ども達の遊び場となっている十八条東公園の環境を整備しようと、雑草を抜き、クローバの種まきが行われました。



▼公園に集まって活動

20名以上の東三国ジュニアリーダーたちが集まり、午前中、公園の草刈りに汗を流してくれました。地域からもたくさんの大人と子どもが参加して一緒に作業をしました。

自分たちの住んでいる環境を自分たちで守っていくことに大きな意味があると思います。本当にお疲れ様でした。今回参加できなかった人も、次回の参加をよろしくお願いします。



▲雑草を刈る生徒たち